



北中生へ 今年1年のワクワク感

北中での入学式は今回で3回目だ。2年前、今の3年生は落ち着きとやる気を感じた。1年前、今の2年生は一人ひとりの個性を感じた。そして、今年の1年生。底知れぬ可能性を感じた。

それぞれの学年のカラーが交わった時、どんなことが起きるのだろうか。北中のよさは、1年生から3年生が心一つにして、いろんな活動に取り組むことだ。それぞれの学年のカラーを発揮すれば、とてつもないパワーが生まれ、最高を超えるすごい学校になるに違いない。ワクワクする1年が始まった。

期待くらむ1年生

入学式での新入生呼名。驚いた。体育館に響き渡る「ハイ！」という返事。61人、全員が大きく、ハッキリとした素晴らしい返事をしていった。

そして、校長の式辞を聞く時の姿勢。堂々と胸をはり、無駄な動きをすることなく、しっかりと校長を見ている。そんな姿をステージの上から見る事ができた。緊張感と希望に満ちあふれたその姿を見ていた時間は、感動とともに、すごく幸せな時間だった。すごいぞ1年生。

明日からの中学校生活でどんな輝く姿を見せてくれるのだろうか。そんな大きな期待をもつ入学式での1年生の姿だった。



北中の中心で個性を出す2年生

2年生を見ていると明るく楽しい気持ちになる。それぞれの個性をストレートに表現しているからだろう。そして、仲間の個性を認め、気遣う言葉や態度がいい。それが温かい雰囲気を出している。

48人と数は少ないが、100人くらいいるのではないかという思うくらいのパワーを感じる。体育大会や文化祭、生徒会活動などで、3年生を助けながら、盛り上げてくれそうだ。

2年生は中堅学年。中堅学年は、3年生を支えながら、1年生にいろいろ教える学年。つまり、ど真ん中。北中の中心となって活躍する学年だ。

さあ、中堅学年として、それぞれの個性を思いっきり発揮してくれ！
修学旅行も楽しみだ！！



カッコいい後ろ姿を見せる3年生

とうとう3年生になったな。私が北中に来た時、君たち3年生も北中に来た。あど時の緊張した表情、あどけなかつた表情が蘇る。

そして、令和8年4月。真新しかったカバンは使い込まれて馴染んできた。3階フロアだった教室は1階フロアに変わった。変わったのはカバンや教室だけじゃない。一番変わったのは顔つきだ。凛々しくもあり、頼もしくもある。その精悍な顔つきに感慨深くなる。

※感慨深い……思い出に対して、しみじみ心の底から感じること。

始業式の落ち着いた態度。入学式準備での会場づくりや、入学式の受付、誘導などで見せた行動力。入学式の時に全力で歌った校歌。どれを北中のリーダーとしてふさわしい姿だった。

1・2年生はいつも、3年生の姿を見ている。3年生は後ろ姿で語る学年だ。すでにかっこいい後ろ姿を見せている。今年の3年生。昨年よりもさらに高いレベルの北中を創ってくれそうだ。頼んだぞ、3年生！！

